



みやがわ ちづる
宮川千鶴

「20歳になって 思うこと」

私は高校を卒業して就職しましたが、未熟であることを痛感させられます。就職1年目は右も左も分からず、上司・先輩の指示に従っていましたが、2年目を迎えると後輩も入り教える立場になりました。教えるための知識を増やし、自分で考えて仕事をしなければいけません。

仕事では楽しいこともたくさんありますが、当然苦しくて辛いこともあります。今は保険関係の仕事をしているので、お客様に保険内容の説明をする事があります。しかし、若いからという理由で見くびられることが多いです。そうならない為にも、聞かれてもすぐ答えられる知識を身に付けなければなりません。難しい言葉をどれだけ分りやすく伝えるか、仕事をするにあたりその事を意識して毎日取り組んでいます。

今年の4月で就職3年目を迎えます。職場の中で信頼される立場になる為にも、お客様に「この人に任せてよかった」と思ってもらえる為にも自分の仕事には責任を持ち、先のことを考えて行動するようにこれからも頑張っていこうと思います。

こうして成人式を迎えると、「もう20歳か」と思います。でも、「まだ20歳」です。長いようで短い20年間でした。まだまだ人生は続きます。「今」という時間を大切にしていこうと思います。

ここまで育ててくれた両親。小さい頃から一緒に育った兄弟。学生生活を共にすごした友人。時には厳しく指導して下さった先生・地域の方々。杵築で生まれ育ち、成人式を迎えられることを大変嬉しく思います。

最後になりましたが、本日お祝いして下さった皆さま、家族、そして同い年の仲間たちに感謝を申し上げます。



すぎうら しょうと
杉浦奨人

「私の提言」

私はここ杵築市で、小学校1年から高校3年までの約12年間、野球をしていました。正直、野球をやめようと思ったことはたくさんありました。「自分に出来るのか？」と不安になることもありました。でも、やってみなければ何も始まらない。だからこそ、「自分に出来るのか？」ではなく「自分は何がやりたいのか？」と考えればいいのだと思いました。私は杵築で野球をして、今まで成し遂げられなかった甲子園に行きたかった。ただそれだけでした。

甲子園に行くという目標を達成して、続けること、諦めないことの大切さを実感しました。夢を追うときには、辛い時も苦しい時もあるかと思えます。しかし、その先には「夢を実現した自分」がいて、嬉しいことや幸せなことが待っています。諦めは肝心と言う人もいますが、私はそうは思いません。「継続は力なり！」これが私の提言です。

私は今、杵築を離れ、熊本の大学に通っています。離れてみたからこそ分った杵築の良さはたくさんあります。この田舎な杵築が私は大好きです。これから就職活動が始まりますが、なるべくこの杵築に戻ってきたいと思っています。

そして、自分がこうして成人式に出られているのは、当たり前のことではありません。たくさんの支えがありました。今まで育ててくれた両親。よく喧嘩をした兄弟、家族。ご指導いただいた先生方、野球関係の方、地域の方々。一緒に成人式を迎えることができた友達。全ての人に感謝しています。

最後になりましたが、皆様から暖かいお祝いと激励のお言葉をいただき、新成人としての喜びを噛みしめると同時に、今後の責任の重大さを痛感しております。これからは自分の言動に自覚を持ち、今まで支えていただいた方々に恩返しできるようにがんばっていきます。



成人おめでとうございます

1月11日、文化体育館で平成26年度杵築市成人式が開催され、今年度成人を迎えた334人のうち244人が出席しました。式では、新成人によって構成された実行委員会の企画・進行で、小中学校時代の恩師からのビデオレターの上映、出席者によるファッションショーなども行われ、賑やかな門出の式となりました。



※広報誌掲載にあたり、一部内容を省略しております。